株式会社エバーフィールド 木材加工場新築工事 事業計画書

1. 会社概要

社名	株式会社エバーフィールド
<u>社</u> 右 	休式去社工パーフィールド
設立	平成12年4月
資本金	20,000,000 円
所在地	熊本県熊本市南区城南町舞原 195-22
代表者	代表取締役 久原英司
事業内容	建築工事(住宅・商業施設・店舗全般)
免許・許可登録	建設業許可:熊本県知事(特-29)第 16262 号
	1級建築士事務所登録:熊本県知事登録 第3582号
所属団体	一般社団法人 JBN(全国工務店協会)
	一般社団法人 KKN(熊本工務店ネットワーク)
	一般社団法人全国木造建設事業協会
受賞	第 28 回住生活月間 国土交通省住宅局長 感謝状受
	賞
	※熊本地震においての応急仮設住宅建設
	優秀施工者国土交通大臣顕彰(1名)
	青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰(1名)
その他	<熊本地震関連実績>
	木造応急仮設住宅建設 211 戸
	木造集会施設「みんなの家」建設 13 棟
	木造災害公営住宅建設 65 棟
	くまもと型復興住宅建設 41 棟(モデル住宅 10 棟)

2. 経緯及び目的

株式会社エバーフィールドは、平成12年4月に設立し、地域に根ざした工務店として県産木材により住まわれる方が健康で快適に過ごせる住宅を建設してまいりました。

平成28年に発生した熊本地震の際には、県内外の団体、企業、職人など様々な方から多くの協力をいただきながら、主幹事工務店として多くの木造仮設住宅の建設に携わり、211戸の木造仮設住宅と13棟の木造集会施設「みんなの家」を建設しました。また、被災者の住宅再建を後押しするために熊本県産材を使用し、耐震性やコスト低減に配慮した「くまもと型復興住宅」の建設や工務店による買取方式による木造災害公営住宅建設という新たな取組みにより、地域

の工務店として熊本地震からの復旧・復興、被災された方々の住まいの再建に取り組んでまいりました。

近年、大工の減少が顕著になっており、2015年度には35万人である大工の人数が、2030年度には21万人までに減少すると予測され、今後の木造建築需要に対応できなくなる可能性が指摘されています。

このような状況のなか、持続可能な地域社会を形成していくためには、地域経済を支える地場産業の活性化が必要であり、熊本県の主要な地場産業である木造建築関連業においては、担い手である大工の育成、技術力の向上が急務であると考えています。

また、今回の熊本地震では地域の木造建築産業が住まいの再建の大きな原動力となりましたが、木造建築産業さらなる活性化に平常時から努めておくことは、今後も想定される大規模な災害への対応力を蓄えることにもつながるものと考えています。

このような人材育成や地域活性化の取組みを進めていくため、弊社では大工の研修等に活用できる木材加工場を建築し、木造建築の担い手育成・技術力の向上のために活用したいと考えています。

例えば、国土交通省の補助(地域に根ざした木造住宅施工技術体制整備事業等)を受けて大工育成事業等を行う予定をしていますが、大工等の実技研修場所が不足している現状があるため、そのような研修の場としての活用することを考えています。

今回計画している木材加工場については、県産流通木材を使用し、特殊金物を極力使用することなく地元大工の技術で建築できるものとする一方で、木材の架構自体が美しい、大スパンを有する新しい木造空間とすることを目指しています。このような空間を地元大工の技術で建築することにより、その建築過程についても育成の場にすることができるとともに、地元工務店の技術力と県産木材の更なる可能性を県内外にアピールできるきっかけになると考えています。また、全国の工務店や木造関係団体等からの見学等も想定され、そのことによる地元への経済効果にも期待しています。

3. 基本コンセプト

- 地場産の流通木材(小断面材)を活用し、木材の架構自体が美しいデザインとなるような大スパンを有する新しい木造空間を目指します。
- 木造の美しい空間の中で、大工等の技術者を育成する場とするとともに、 地場産木材の可能性を県内外に示すことができる建築を目指します。
- 特殊金物や大断面集成材の使用を極力避け、地元大工の技術によって建築可能なものとします。
- 施工者となる工務店と設計者との対話を重視し、地元大工の技術を最大

限に生かしたデザインとします。

4. 施設計画概要

用 途: 木材加工作業場

敷地面積: 2,759.25㎡

延床面積: 600㎡程度(20m×30m程度)

階数: 地上1階

最高高さ: 16m以下

構造形式: 木造

設 備: 木材加工機用電源、照明設備、屋外水栓

事 業 費: 約5,900万円

5. 添付資料

・案内図

・配置計画図

·敷地図